

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2004-517047(P2004-517047A)

【公表日】平成16年6月10日(2004.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2004-022

【出願番号】特願2002-523884(P2002-523884)

【国際特許分類】

C 07 K	5/02	(2006.01)
A 61 K	31/13	(2006.01)
A 61 K	31/437	(2006.01)
A 61 K	31/7052	(2006.01)
A 61 K	31/713	(2006.01)
A 61 K	45/00	(2006.01)
A 61 P	1/16	(2006.01)
A 61 P	31/14	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	5/023	(2006.01)
C 07 K	5/027	(2006.01)
C 07 K	5/03	(2006.01)
C 07 K	7/02	(2006.01)
C 12 N	7/06	(2006.01)
A 61 K	38/55	(2006.01)
A 61 K	38/21	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
C 12 N	9/99	(2006.01)

【F I】

C 07 K	5/02	Z N A
A 61 K	31/13	
A 61 K	31/437	
A 61 K	31/7052	
A 61 K	31/713	
A 61 K	45/00	
A 61 P	1/16	
A 61 P	31/14	
A 61 P	43/00	1 1 1
A 61 P	43/00	1 2 1
A 61 P	43/00	1 2 3
C 07 K	5/023	
C 07 K	5/027	
C 07 K	5/03	
C 07 K	7/02	
C 12 N	7/06	
A 61 K	37/64	
A 61 K	37/66	G
A 61 K	37/02	
C 12 N	9/99	

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月30日(2007.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】 請求項1または2に記載の化合物およびインターフェロンが、それぞれ、医薬的有効量、準臨床的医薬的有効量およびその組み合わせから選ばれる量で存在する請求項13に記載の使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項16

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項16】 インターフェロンが、インターフェロン - 2B、ポリエチレン glycol付加(pegylated)インターフェロン、コンセンサスインターフェロン、インターフェロン - 2A、リンパ芽球腫インターフェロンおよびインターフェロンから選ばれる請求項15に記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項23

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項23】 請求項1または2に記載の化合物、インターフェロンおよび抗C型肝炎ウイルス活性をもつ化合物が、それぞれ、医薬的有効量、準臨床的医薬的有効量およびその組み合わせから選ばれる量で存在する請求項21に記載の使用。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項34

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項34】 インターフェロンが、インターフェロン - 2B、ポリエチレン glycol付加(pegylated)インターフェロン、コンセンサスインターフェロン、インターフェロン - 2A、リンパ芽球腫インターフェロンおよびインターフェロンから選ばれ；および抗C型肝炎ウイルス活性をもつ化合物が、インターロイキン2、インターロイキン6、インターロイキン12、1型ヘルパーT細胞応答の発達を増強する化合物、二本鎖RNA、トブラマイシンと複合させた二本鎖RNA、イミクイモド、リバビリン、イノシン5'-モノリン酸デヒドロゲナーゼインヒビター、アマンタジンおよびリマンタジンから選ばれる請求項32に記載のキットまたは医薬パック。